

横浜動物の森公園未整備区域 基本計画(案)に対する 市民意見募集の実施結果について

横浜動物の森公園※未整備区域 基本計画(案)について、市民の皆様からのご意見を募集し、このたび、その集計結果がまとまりました。

おおむねご賛同・ご理解いただいたことを踏まえ、今後、基本計画を確定するとともに、市民の皆様のご意見を伺いながら公園整備を進めていきます。

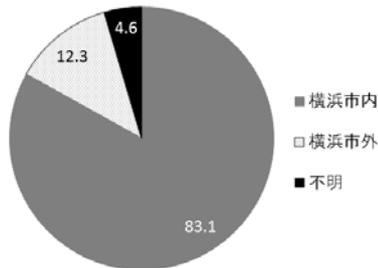
たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

※横浜動物の森公園…旭区から緑区にまたがる広域公園で、よこはま動物園ズーラシアと、全国都市緑化よこはまフェアの会場となった里山ガーデンエリアを含む未整備区域があります。

1 実施概要

実施期間	平成 30 年6月 25 日(月)から7月 25 日(水)
応募方法	郵送、FAX、電子申請
主な周知方法	・市民情報センター、各区役所 ・広報よこはま、ホームページによる広報 ほか

2 実施結果

提出者数	284 件								
提出方法	郵送 218 件、FAX 1 件、電子申請 65 件								
回答者の属性	<p>全体のうち、横浜市内にお住まいの方からの回答が約 8 割、横浜市外の方からの回答が約 1 割でした。</p>  <table border="1"> <caption>回答者の属性</caption> <thead> <tr> <th>属性</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横浜市内</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>横浜市外</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table>	属性	割合	横浜市内	83.1%	横浜市外	12.3%	不明	4.6%
属性	割合								
横浜市内	83.1%								
横浜市外	12.3%								
不明	4.6%								

(1)重要だと思う項目

本計画(案)で掲げた4つの整備方針について、「重要だと思う」と回答した方が最も多かったのは「横浜らしい里山の保全や遊歩道の整備」で 175 件、次に多かったのは「花や緑と親しめる場の整備(大花壇、谷戸の花畑等)」で 164 件でした。

参考)本計画(案)で、重要だと思う項目(複数回答可)(回答者数 228 名)

項目別内訳	622 件
・整備方針(1) 花や緑と親しめる場の整備(大花壇、谷戸の花畑等)	164 件
・整備方針(1) 森を楽しむ施設(アスレチック施設、キャンプ体験等)の整備	136 件
・整備方針(2) 横浜らしい里山の保全や遊歩道の整備	175 件
・整備方針(3) 周辺の交通対策	147 件

(2) 「具体的なご意見」の概要といただいたご意見に対する本市の考え方

具体的なご意見を記入された方は、226名で、意見数は240件でした。

1 整備方針（1）花や緑と親しめる場の整備（大花壇、谷戸の花畑等）について（20件）	
主なご意見の主旨	本市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・今後も里山ガーデンを続けてほしい。・大花壇や菜の花畑はこれからも今のように春・秋と楽しめるといい。・「横浜産の花き」をメインとしていたことは地産地消の新たな面としてよい。・新名所としてもっとアピールが必要。・園芸植物で彩る大花壇は、田舎の公園にはふさわしくない。苗代や植え替えの人件費等管理費がかかるため、その分を別のものを使うべき。・谷戸については、以前の田んぼとして活用してはどうか。	<ul style="list-style-type: none">・大花壇、谷戸の菜の花畑については、よこはまフェア開催時に多くの方々のご好評をいただきました。今後も引き続き、ガーデンネットワーク横浜の郊外部での魅力ある拠点として豊かな自然環境を大切にしながら、花の名所を創出します。また、市内産の花きの活用をはじめ、地産地消のPR等を進め、横浜の多様な魅力を発信していきます。
2 整備方針（1）森を楽しむ施設（アスレチック施設、キャンプ体験等）の整備について（20件）	
主なご意見の主旨	本市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・緑化フェア期間中の、フォレストアドベンチャーや広場でのピザ焼きなど、見る場よりも体験できる場が、家族の印象に強く残っている。子どもたちにとって楽しい思い出となる体験施設の整備をお願いしたい。・昨年のイベント中にグランピング・サイトがあったが、野外体験を通して子供だけでなく大人もいろいろと学べるゾーンだった。是非非常設してほしい。・県外に行かずに昔ながらの山遊びやキャンプができるのは、非常に魅力的だと思う。・相鉄線の直通運転により都心からのアクセス改善が見込まれるため、外から人を呼び込む環境の整備が必要。グランピング施設などを充実させ、みなとみらいだけではなく「緑の横浜」を多くの人に周知してほしい。・今は空前のアウトドアブームだが、ファッションや流行にのっかっている部分もあり、本質的に自然と親しむキャンプになっているのかどうか、気にかかる。	<ul style="list-style-type: none">・よこはまフェア開催時に大変好評をいただいた森を楽しむ施設については、今回の計画案にもおおむね賛同のご意見をいただきました。引き続き、豊かな自然景観を大切にしながら、公園に新たな魅力を付加するゾーンとして、里山の新たな楽しみ方を提供します。また、公民連携推進エリアとして、民間活力を活用し、幅広い年齢層の皆様にお楽しみいただける施設の整備を先行して進めます。
3 整備方針（2）横浜らしい里山の保全や遊歩道の整備について（22件）	
主なご意見の主旨	本市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・作り過ぎない、自然を生かした施設の設置を。・子供たちの豊かな経験になるような学習の場としての森の整備をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">・横浜らしい豊かな自然景観を大切にしながら施設整備を行います。

4 整備方針（3）：周辺の交通対策について（37件）

主なご意見の主旨	本市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・周辺道路の渋滞が深刻なため、なるべくはやく中央道路を延伸し、三保街道にも抜けられるようにしてほしい。・計画のとりの施設などができると、さらに車での来場者が増えると思われるため、駐車場や周辺に及ぼす影響などはより綿密に考えた方がよい。・バスの増便や地下鉄の延伸も考えてほしい。・中央道路の三保街道への延伸は保全林の環境保全に影響が出る。ズーラシアに接して駐車場を整備すれば、延伸は必要ない。	<ul style="list-style-type: none">・周辺の交通対策の取組については、十分な調査を実施し、地域の皆様に丁寧に説明するなど、ご理解を得ながら駐車場の整備や中央道路の三保街道までの延伸などの計画の検討を進めていきます。

5 その他（141件）

主なご意見の主旨	本市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・なるべく早く整備してほしい。・動物園エリアを拡大し、動物たちがのびのびと暮らす様子を観察しながら、動物福祉向上とその教育に取り組むことのできる新しい動物施設を整備してほしい。・植物園（温室）を作ってほしい。・今後ますますの増加が予想される外国人観光客向けの日本庭園の整備をお願いしたい。・来園者の満足度向上のための施設整備を（トイレの充実、レストラン、カフェ、売店、BBQ場、宿泊施設等）。・緑を伝えるインタープリターなどの育成・活躍の場をつくってほしい。	<ul style="list-style-type: none">・今後段階的に整備を行い、31年度以降、里山ガーデンエリアを順次公開します。・未整備区域とよこはま動物園ズーラシアとの連携や公民連携により、引き続き多くの方々に楽しんでいただける魅力ある施設づくりを行います。・その他、いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。

3 今後の予定

平成30年10月	横浜動物の森公園未整備区域基本計画策定(予定)
平成31年度以降	里山ガーデンエリアを順次公開
平成33年度以降	その他エリアの整備着手、段階的に整備

お問合せ先

環境創造局公園緑地整備課担当課長 鈴木 幸子 Tel 045-671-2684